

第 6 回「中海沿岸農地排水不良WG」について

1 開催日時 平成 27 年 7 月 1 日（水） 14:00～15:30

2 出席機関

- ・国土交通省中国地方整備局 出雲河川事務所計画課
- ・農林水産省中国四国農政局 整備部農地整備課
- ・鳥取県農林水産部 農地・水保全課
- ・鳥取県西部総合事務所 地域振興局西部振興課
- ・鳥取県西部総合事務所 農林局地域整備課
- ・米子市企画部企画課、経済部農林課（事務局）

3 報告事項

中海沿岸（彦名・崎津）農地の排水不良対策について

【経緯】

中海沿岸（彦名・崎津）農地を所有する農家から「本庄工区干拓堤防」が築造されてから、地下水位の上昇等で農地が排水不良となり農作物に被害が生じているとのことで、平成 17 年度に現地調査を実施し改善策を検討。

○調査内容について報告(H18.1.17)

- ・排水不良農地 104ha、標高 90cm 以下の農地と概ね一致。
- ・田畑が混在し、農地の標高が低く地下水位も高いことから排水不良となっている。

○地元が対策を検討するため補助事業制度について説明（H18.3.8）

- ・干拓堤防の影響や大橋川拡幅の絡みで「農家負担ゼロ」での対策を要望。

○第 1 回中海会議で「中海沿岸農地の排水不良について」問題を提起(H22.4.22)

- ・関係機関で構成するグループによる情報交換や排水不良対策を協議検討する場として「中海沿岸農地排水不良ワーキンググループ」を設置。

○崎津地区地元代表との勉強会（H22.5.12）

- ・県と市が連携して地元農家の組織化や土地改良事業実施にかかる支援について説明。

【WG開催経過】

○WG設置準備会(H22.5.18)

- ・農地排水不良状況について

H17 年度に農家代表を含む検討会メンバーにて検討した米子市彦名・崎津地域における農地排水状況の調査結果を報告

○第 1 回WG会議(H22.10.6)

- ・弓浜半島の地下水位についてモニタリング結果を報告。
- ・他工事から公共残土の搬出について情報提供。

○第 2 回WG会議(H23.7.22)

- ・崎津にモデル地区（面積 A=3.3ha、地権者 32 名）を選定し、約 4,000 m³（客土高 50 cm 搬入面積 0.8ha）の公共残土を搬入

- 第3回WG会議(H24.7.11)
 - ・ 中海沿岸排水不良地域の水路現況調査(砂、泥等の滞積及び樋門状況)を報告。
 - ・ 残土搬入後の崎津モデルほ場(面積=0.8ha)の営農状況の報告。
- 第4回WG会議(H25.7.17)
 - ・ 崎津モデルほ場への残土受入れ状況について報告。
 - ・ 崎津モデルほ場の農振農用地区域への編入等について状況報告。
- 第5回WG会議(H26.6.4)
 - ・ 公共残土受入れ促進のためのストックヤード方式について検討を進める。
- 第6回WG会議(H27.7.1)
 - ・ スtockヤードを拠点として公共残土の搬入を促進させる。
 - ・ 引続き排水不良対策を協議し、新たな対策の手法や排水不良農地の状況変化等について報告する。

【現状】

- 標高が低い農地は排水不良による冠水が常習的に発生し、ほ場条件の悪さ等から耕作放棄地が散見される状況となっている。
- 崎津モデル地区(面積 3.3ha)において、客土搬入は平成 22 年度に一部区域(面積 0.8ha 客土高 50 cm)を実施したのみで、平成 23 年度以降は受入れがない。
- 公共工事の搬出土がほ場に適さない土質であったり、受入れが耕作時期等の理由により農業者との調整が図れず断念したケースもあることから、客土搬入は遅々として進んでいない。

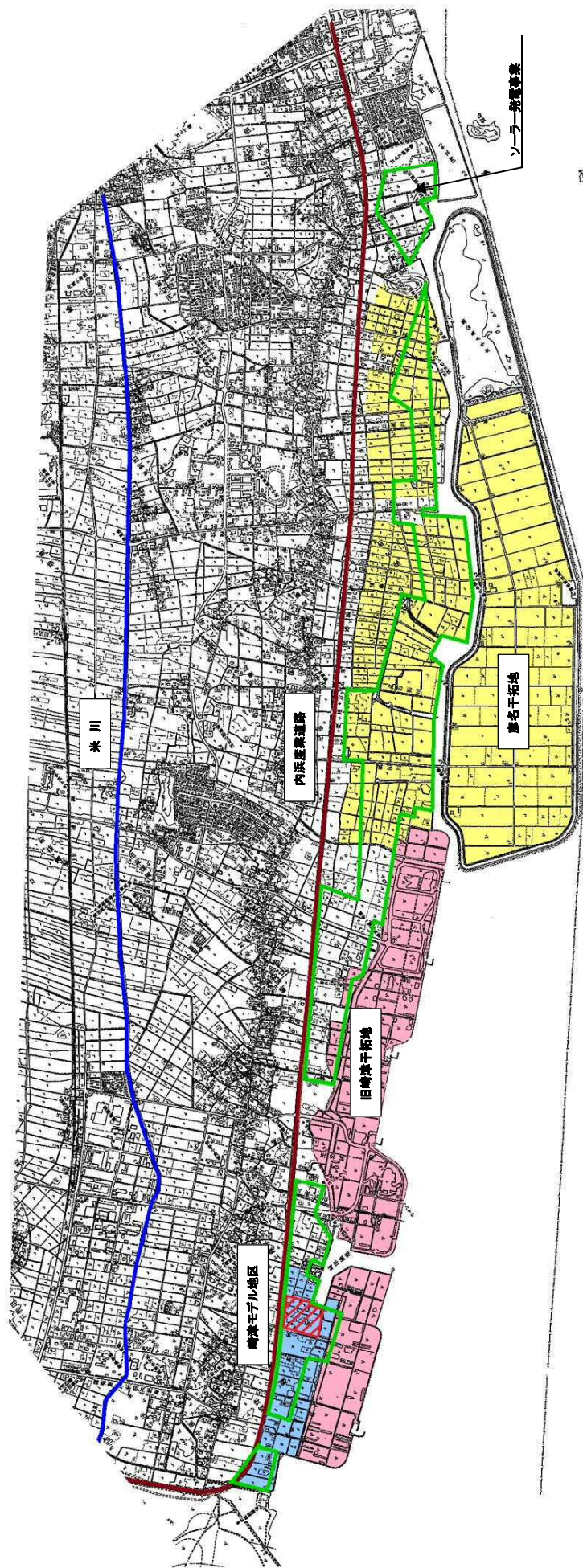
【課題】





- 農業基盤整備等の補助事業の実施を図るため、崎津地区(全体面積 21.8ha)を対象に農振農用地区域への編入にかかる地元関係者等と意見交換や意識調査を実施したが、農地転用が制限され開発行為が行えないなどの懸念から耕作者(地権者)間で賛否両論があり合意形成が図れていない。

【今後の対応】

- ストックヤードを拠点とした公共残土の受入れを促進させるため、引続き「鳥取県西部地区建設発生残土対策協議会」へ優先的な残土搬入についての受入れを調整する。
- 崎津モデルほ場において、公共残土受入れによる客土が排水不良対策として一定の効果を上げており、ストックヤードの設置により受入れ量の幅も拡がり、より一層の進捗が図れるなど、対策の手法が確立されたことから、今後は他の排水不良区域においてもこの手法をもって対策を実施していくこととする。
WGにおいては、引続き排水不良対策について検討・協議し、新たな対策の手法や排水不良区域にける状況変化等について、今後は報告を行うこととする。

中海沿岸農地排水不良区域等平面図



凡 例	
	農振農用地区域
	崎津モデル地区 A=3.3ha
	農振農用地区域への編入 検討区域 A=21.8ha
	排水不良区域 A=104ha (標高 90cm 以下)

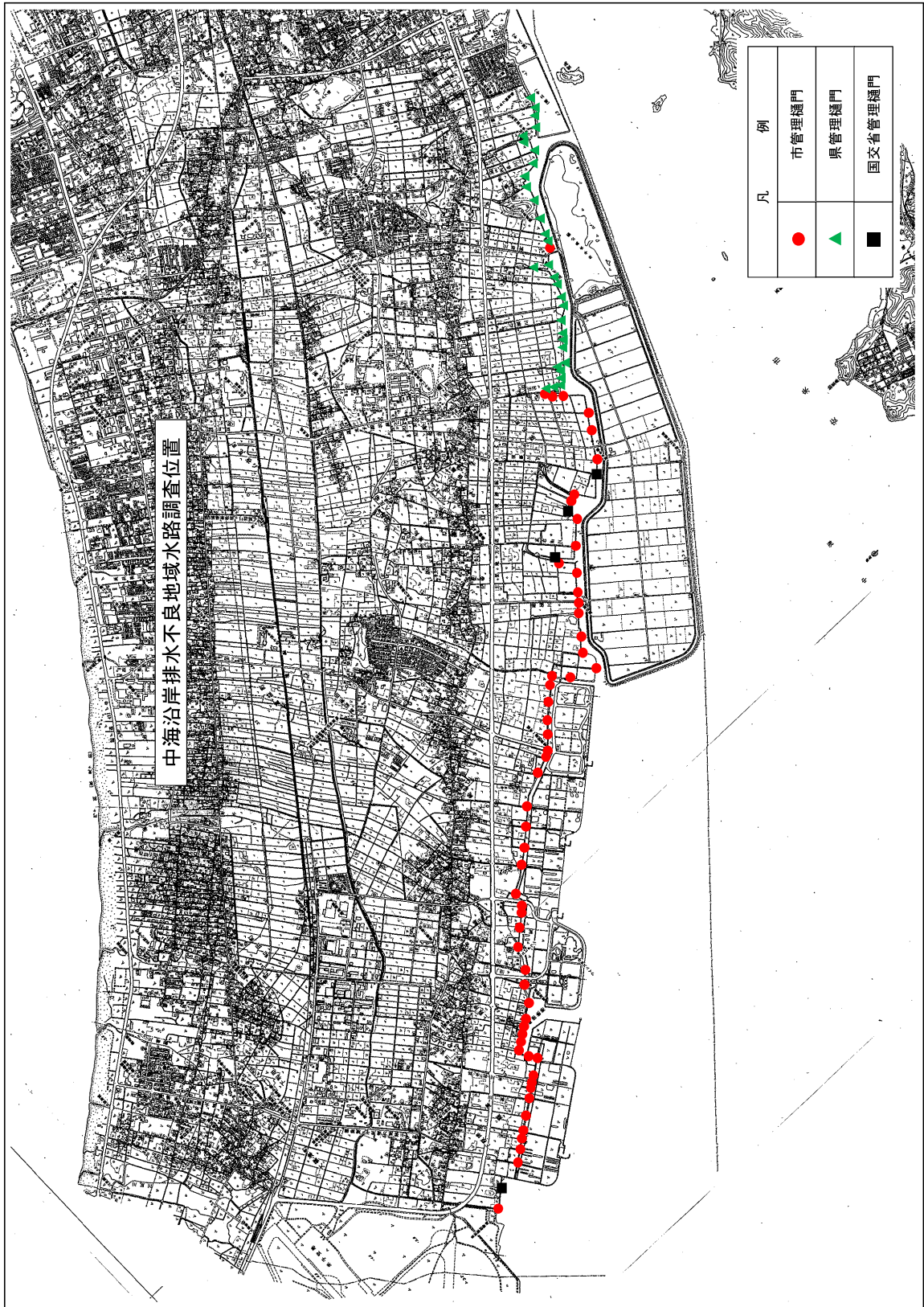


【搬入前】

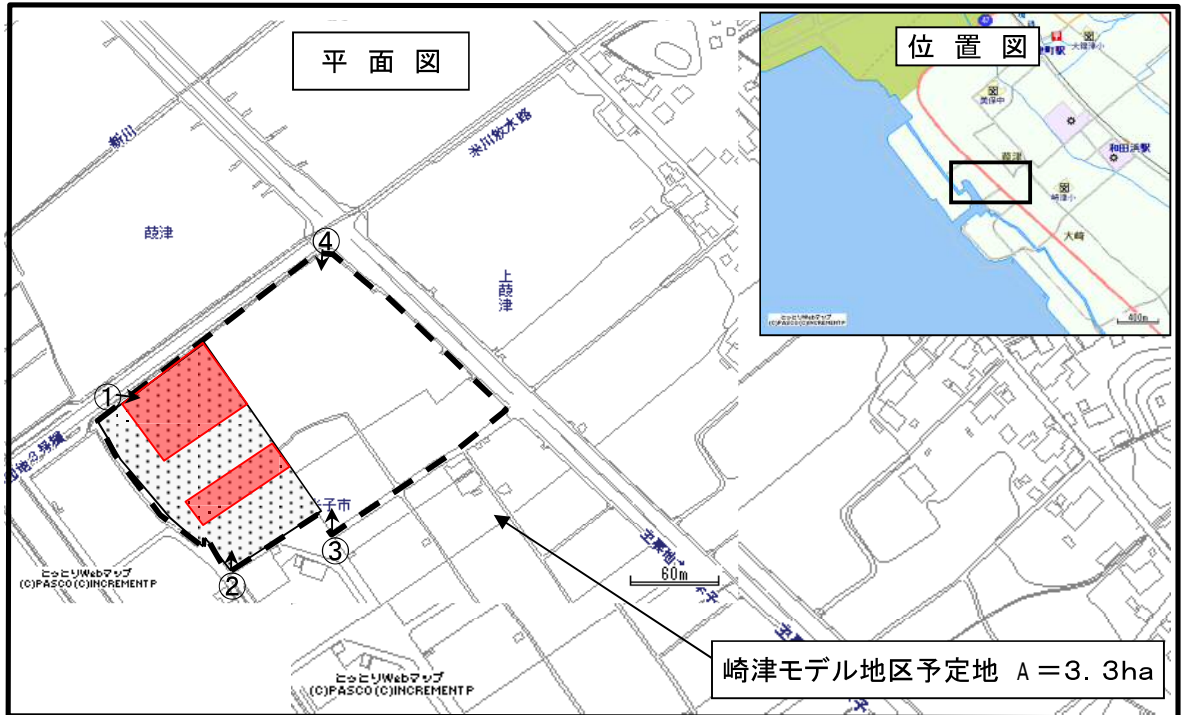


【搬入後】





崎津モデル地区 現在の営農状況 (H27. 6)



①



②



③



④



(1) 排水不良農地への残土受入れについて

- ①現在の受入れ状況 **崎津モデル地区 A=3.3ha**
- ・平成22年11月 受入れ量 約3,000^m³
 - ・平成23年1月 // 約1,000^m³
- 計 約4,000^m³
- ・受入れ面積 A=0.8ha (50cm客土)
- ②今後の必要量 **約12,500^m³ A=2.5ha (50cm客土)**



- ③一時仮置きのためのストックヤードと残土受入れ方法について